さかとくサポーター通信

〈令和４年度　NO.　１〉

茨城県立境特別支援学校

特別支援教育相談センター
〈地域連携担当〉
令和４．９．１発行

令和4年度もよろしくお願いいたします。

今年度も、感染症対策を講じながら、サポーターのみなさまにご協力をいただき、児童生徒が貴重な体験・経験を積むことができました。2学期も引き続きよろしくお願いいたします。

【１学期　地域交流】

落合　一郎　様　（5/24）

小学部4年生「キャベツの収穫体験をしよう」

大きな包丁を持ち、切り方を教えていただきながらキャベツを収穫しました。採れたての瑞々しいキャベツを両手で持ち上げ、その重さや匂いに触れたり、キャベツの大きな葉っぱを団扇のように使い涼しさを味わったりと、普段は味わうことのできない貴重な体験をすることができました。

株式会社　篠原工務店　様　（6/21）

小学部６年生「技術指導」

篠原工務店さんとの交流は新型コロナの影響で、2年ぶりの活動でした。かんながけした、ひのきのにおいをかいだり、釘をトンカチで打ったり、ボンドをつけたりと椅子の組み立てをしました。普段できない体験だったので、子どもたちにとって有意義な体験になりました。

「朗読ボランティア」　すばる　様　（7/11、15）

高等部2年生・小学部１年生「読み聞かせ」

[高2]大型紙芝居やパネルシアターでは、生徒達に言葉掛けや質問等があり、意欲的に取り組むことができました。

[小1]初めての外部団体との交流でしたが、すばるさんの問いかけに対しても、返答する児童がたくさんいて、とても有意義な交流ができました。